

巻頭のことば

平成16年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

昨年度は、我が国においては、個人消費もわずかですが上向き、景気が回復しつつあるとはいえ、かつてのような税収の伸びが期待できない中、急速な人口の高齢化に伴う諸費用の増大など、深刻な状況であり、真の意味での景気回復を期待するところです。本市においては、長引く景気低迷の影響で市税収入が激減しており、また、地方交付税の見直し、国庫補助負担金の削減など三位一体改革により、引き続き厳しい財政状況です。

こうした中、市議会をはじめ市民各位の格別のご指導、ご協力のもと、市民一人ひとりが生活に充実感を感じていただける「生活充実都市・米子」の実現を目指し、限られた予算の中で、諸施策を推進してまいりました。「少子高齢化対策」として、ブックスタートの開始、健康ウォーキングマップの作成、「経済活性化対策」としては、皆生温泉活性化事業及びにぎわいのある商店街づくり、行政改革の一環として事務事業の見直しなど今日的な課題を中心に取り組んでまいりました。

また、3月31日に、淀江町との合併により新しい「米子市」としてスタートいたしました。極めて厳しい財政状況ではありますが、皆様のご理解とご協力をいただきながら新市の将来像「交流と連携を育み、新しい文化を創造する都市」の実現に向けて市政運営にまい進する所存です。

どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年8月

米子市長 野 坂 康 夫

重要記録

1 米子市を主会場とした国際会議の開催

6月19日から20日まで、アジア・太平洋環境会議「エコ・アジア2004」が開催された。この会議は、環境省が主催でアジア・太平洋地域の各国の環境大臣等が環境分野で協力を推進するための意見交換をした。各国代表に米子市の豊かな自然や文化をPRした。

9月5日から7日まで、東アジア地方政府観光フォーラム「EATOF2004」が開催され、韓国、中国、モンゴル、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ロシアの東アジアの各地域から、知事、観光業界、大学等の産官学が集い、世界各地からの観光客誘致や地域交流の相互理解を深めていく話し合いが行なわれた。

2 中国・四国地区の公民館関係者が米子に集う

第27回中国・四国地区公民館研究集会在、平成16年9月2日・3日の両日米子コンベンションセンターにおいて、「地域に輝け！スーパー公民館」をテーマに開催され、中国・四国地区から公民館関係者1,329人が集った。

鳥取県知事の記念講演のほか、地方の時代を迎え、住民が主役となって活力ある地域を創造することが強く求められる中、地域の自立を支える拠点として、社会の変化に対応できる公民館のあり方について、分科会やシンポジウムで研究・協議がなされ、公民館設置の初期の目的に立ち返り、地域の人材や活力を活かした力強い公民館を目指すことを確認して散会した。

大会関係者、参加者から、質素な運営の中にもおもてなしの心と充実した内容が高く評価された大会となった。

3 旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業計画策定

旧加茂川・寺町周辺地区の住民による積極的なまちづくり活動を支援し、住民との協働によるまちづくりを進めるため、平成15年度から16年度にかけて「地区が持つ歴史的資源・文化の保存・継承と住環境の向上を図り、景観形成や文化とふれあえる空間を創造する」ことを目的とした、街なみ環境整備事業計画を策定した。

4 鳥取大学医学部附属病院に救命救急センター開設

10月1日に鳥取大学附属病院に「救命救急センター」が開設された。このセンターは、高度な診療機能を有しており、24時間体制で重篤で緊急な処置が必要な傷病者を受け入れする施設であり、この開設により、鳥取県西部地区における傷病者の搬送時間の短縮等の救急医療体制の充実が図られた。

5 国指定中海鳥獣保護区の更新及び同特別保護地区の指定

鳥獣保護を目的として、中海等の地域（彦名干拓地を除く）が国指定鳥獣保護区として11月1日に更新された。また、これと同時に、米子水鳥公園をはじめ中海の水域が同特別保護地区に指定され、これによりラムサール条約登録湿地の要件が整った。

6 戸籍事務のコンピューター化実施

平成16年11月27日から戸籍事務のコンピューター化を実施し、これにより迅速かつ正確な戸籍記載や、証明書発行時の窓口待ち時間の短縮が図られた。また、証明書の名称も変更になり「戸籍謄本」が「全部事項証明書」、「戸籍抄本」が「個人事項証明書」となった。新しい証明書は、A4版横書きで記載内容も文書体から項目化され地番等の数字も漢数字から算用数字の表記となりわかりやすくなった。

7 ISO14001の認証を取得

米子市は、5月から米子市環境マネジメントシステムの運用を開始し、12月8日に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得した。

環境負荷の低減に取り組むとともに、環境施策の一層の推進を図りながら循環型社会の実現と良好な環境の保全・創造を目指す。

8 米子市と淀江町の合併により新「米子市」が誕生

平成17年3月31日、米子市と淀江町が合併し、新「米子市」が誕生した。新市の将来像として、「交流と連携を育み、新しい文化を創造する都市」を掲げ、悠久の歴史と先人が培った文化を礎に、多種多様な交流と連携により、市民と一体となって個性豊かで新たな文化を築くことのできる都市の実現をめざすこととなる。

9 閉庁式及び本庁舎・淀江支所開庁式

合併前日の平成17年3月30日に、米子市役所庁舎前庭において、閉庁式を開催し、昭和2年4月1日、全国で102番目に市制を施行してから78年続いた「米子市」は、終わりを告げた。また、昭和30年9月1日、町村合併してから50年続いた淀江町の閉町式を淀江町文化センター「さなめホール」において行った。

新「米子市」施行の平成17年3月31日には、本庁舎前庭及び淀江支所前庭において、米子市職務執行者田口勝蔵のあいさつをはじめ、来賓あいさつの後、テープカットによる開庁式を行った。